

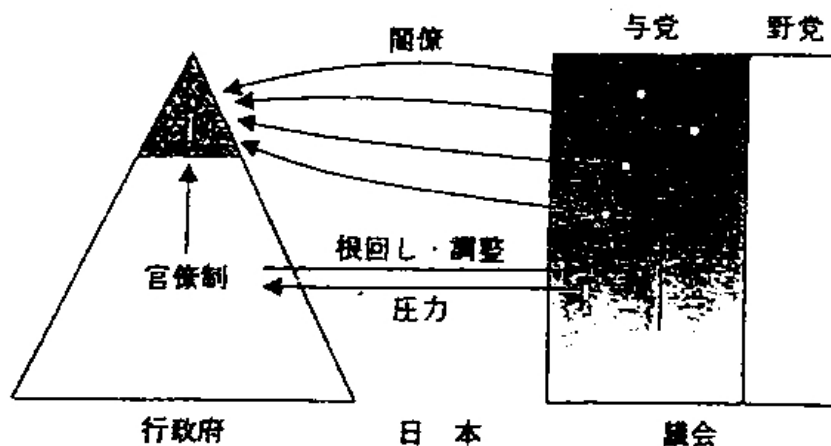
日本型議院内閣制の問題点

はじめに

今勉強会では日本の議院内閣制の問題点を提示し、なおかつイギリスの議院内閣制を比較対象として例示することを目的としている。

I. 日本の議院内閣制の特徴

- ・内閣の空洞化が深刻である。



i. 内閣の空洞化の原因

- ① 頻繁な内閣改造
- ② 内閣と与党が折り合わない
- ③ 内閣全体の意思の不在
- ④ 自民党の官僚依存

ii. 内閣の空洞化の弊害

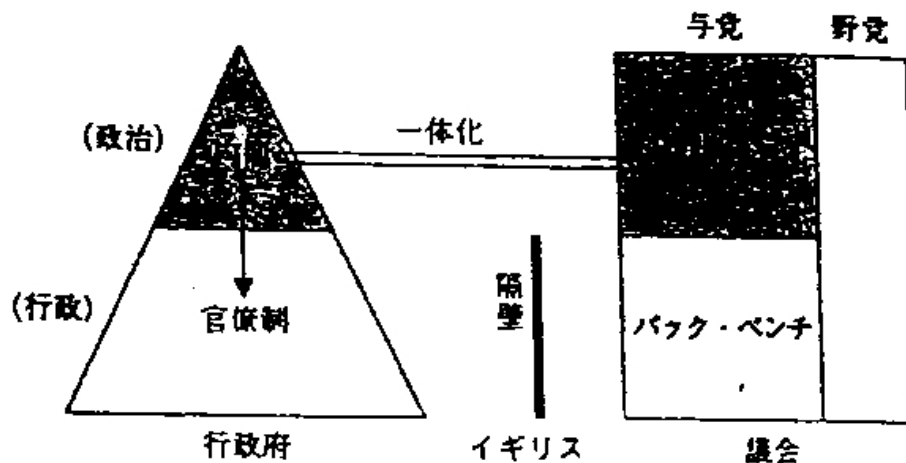
行政権（官僚の裁量）の拡大 立法府 < 行政府

内閣が儀礼的存在にとどまり、行政府から政治的要素が極力排除されているという点で、日本の内閣は『官僚内閣制』と呼ぶことができるのである。

山口二郎『戦後政治の崩壊』より

II. イギリスの議院内閣制の特長

- ・内閣による行政府の指揮が行き届いている。



i. 内閣による行政府の指揮が行き届いている原因

- ①内閣の改造があまりない
- ②内閣＝与党の有力政治家
- ③内閣全体の意思の存在
- ④官僚の中立性

ii. 内閣による行政府の指揮が行き届いている結果

行政府に議会の意思が十分に反映されている。 立法府＞行政府

III. おわりに

- ・『官僚内閣制』の改善のために
- ・国会による行政府の管理
- ・自民党の改革（利益配分政策からの脱却）

【参考文献】

- 山口二郎『戦後政治の崩壊』岩波新書、2004 年
山口二郎『イギリスの政治 日本の政治』ちくま新書、1998 年
山口二郎『日本政治の課題』岩波新書、1997 年
山口二郎『政治改革』岩波新書、1993 年
松下圭一『政治・行政の考え方』岩波新書、1998 年
上田章『国会と行政』信山社、1998 年
五十嵐敬音・小川明雄『議会 官僚支配を超えて』岩波新書、1995 年